

ストレプトコッカス・ニューモニエ (*Streptococcus pneumoniae*) 由来の α -マンノシダーゼ 125A、組換え型

Cat. No. NATE-1473

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 α -マンノシダーゼは植物の液胞に存在する酸性加水分解酵素であり、N-結合型糖タンパク質のターンオーバーに関与していると考えられています。 α -マンノシダーゼはBリンパ球の増殖を抑制することが示されています。

別名 アルファ-D-マンノシダーゼ; アルファ-マンノシダーゼ; アルファ-D-マンノシド マンノヒドロラーゼ; α -D-マンノシダーゼ; EC 3.2.1.24; 9025-42-7

製品情報

種	肺炎球菌
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1-
分子量	51.1 kDa
純度	>90% は SDS-PAGE による
濃度	1 mg/mL
最適pH	7.4
最適温度	37 °C
特異性	2,4-ジニトロフェニル- β -D-マンノピラノシド

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。